

● 第3部 がんを知る

## 第4章

---

### がん医療のトピックス

ここでは、それぞれの項目の中で十分に触れることができなかった内容や、治療において知っておくとよい話題について取り上げています。



## がん医療のトピックス

### 診断と治療

#### ●インフォームドコンセント

いんぷおーむどこんせんと

医療行為を受ける前に、医師および看護師から医療行為について、わかりやすく十分な説明を受け、それに対して患者さんは疑問があれば解消し、内容について十分納得した上で、その医療行為に同意することです。すべての医療行為について必要な手続きです。もともとは米国で生まれた言葉で、「十分な説明と同意」と訳される場合もあります。

#### ●栄養サポートチーム (NST)

えいようさばーとちーむ(エヌエステー)

栄養状態の悪い患者さんに対し、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師などが協力して、それぞれの専門分野による知識や技術を出し合って、患者さんの栄養状態の改善に努めることを目的とした医療チームのことです。

患者さんの栄養状態を評価・判定し、個々の患者さんの状態に合った栄養管理の方法を考えます。栄養補助食品の利用や食べやすい調理法を提案したり、栄養をとる方法を静脈栄養(点滴)や経腸栄養に変えたりする場合もあります。

#### ●気管支鏡

きかんしきょう

肺がんの検査に用いる機器で、やわらかくて細い内視鏡を口から挿入し、気管支の中を観察します。気管支の粘膜などの様子を観察するほか、病変から組織を採取するのも用います。検査の前には、痛みや刺激を和らげるために、のどや気管内などに簡単な局所麻酔を噴霧します。検査中、呼吸はできませんが、声は出せません。医師に何か伝える場合は手で合図します。検査後麻酔が切れるまでの数時間は、物のみ込むとむせてしまいますので、飲食はできません。しばらく安静にしましょう。

#### ●禁煙治療

きんえんちりょう

喫煙習慣の本質はニコチン依存症であるため、本人の意志の力だけで禁煙できる喫煙者はごくわずかであることが明らかになっています。このため一部の医療機関では、「禁煙外来」などを設けて禁煙を支援するための治療を行っています。一定の条件を満たした場合、合計5回までの外来受診の治療費が公的医療保険の適用になります(ただし、保険が適応になる医療機関が限られています。事前に確認しましょう)。

禁煙治療では、禁煙補助薬の処方のほか、禁煙継続に当たっての医師からの助言など

を受けます。

#### ●硬膜外麻酔

こうまくがいますい

背中に管を挿入して脊髄の近くの硬膜の周囲に麻酔薬を注入し、痛みを感じないようにさせる方法です。手術の場合は、全身麻酔と併用することが多いです。手術後に全身麻酔から覚めたあともこの管を残しておくと、局所麻酔薬や鎮痛薬を継続して入れられるため、手術による創の痛みを抑えることができます。

#### ●再建手術

さいけんしゅじゅつ

がんの手術によって切り取ってしまった臓器や器官を新たにつくり直すのが再建手術です。再建手術には大きく分けて2通りのものがあります。1つ目は生きていく上で必要な機能を維持するための器官を再建する手術です。例えば胃がんで胃を切り取ってしまうと、食べ物の通り道がなくなってしまうため、胃切除後に残った胃と十二指腸を直接つなぎ合わせたりして消化管を再建します。もう1つは、手術によって生じた外見上の変形を補うために行います。例えば乳がんでは、乳房を切除した場合に、本人の筋肉や脂肪、あるいは人工物などを用いて乳房の形を整える乳房再建手術を行います。再建手術が可能かどうかは、担当医とよく相談しましょう。

#### ●支持療法

しじりょうほう

がんそのものに伴う症状や、治療による副作用に対しての予防策や、症状を軽減させるための治療のことです。

例えば、感染症に対する積極的な抗生剤の投与や、抗がん剤の副作用である貧血や血小板減少に対する適切な輸血療法、吐き気・嘔吐に対する制吐剤(吐き気止め)の使用などがあります。

#### ●集学的治療

しゅうがくてきちりょう

がんの治療法としては、主に、手術治療、放射線治療、薬物療法などがありますが、これらを単独で行うのではなく、がんの種類や進行度に合わせて、さまざまな治療法を組み合わせて治療を行う場合があります。これを集学的治療といいます。

治療法の組み合わせによって、予想される副作用や治療期間も異なるため、担当医によく確認しておきましょう。

#### ●紹介状(診療情報提供書)

しょうかいじょう(しんりょうじょうほうていきょうしょ)

患者さんが他の医療機関への受診をするとき、それまで担当していた医師が患者さんを紹介するに当たって、発行する書類です。内容はこれまでの症状や診断・治療などといった診療のまとめや、紹介の目的などが書かれています。これによって患者さんの診療情報が引き継がれるため、次の施設であらためて検査や診断をせずに、継続的な診療を行うことができます。

#### ●術中迅速病理診断

じゅつちゅうじんそくびょうりしんだん

手術の間に一部の細胞や組織を採取し、病理医(生検で採取した細胞や組織を顕微鏡で調べて、どの程度病気が進行しているか

などを診断する医師)が短時間で、腫瘍が良性か悪性か、リンパ節に転移していないか、などについて調べることです。この結果によって治療の範囲を決めたり、より適切な手術方法に変えたりすることができます。

### ●人工唾液

じんこうだえき

唾液の代用をして口の中を継続的に潤す薬です。唾液が出にくくなり、口が渇く、痛みが出る、食べにくい、話しにくいなどの症状が現れたときに、症状を和らげるために用いるものです。1日に数回、口の中に噴霧して使用します。医師の処方が必要です。

### ●弾性ストッキング

だんせいすつとッキンク

特殊な編み方でつくられていて、強い圧迫力を備えた医療用ストッキングです。弾性ストッキングを装着すると、足全体が圧迫され続けるため、下肢の静脈のよどみが少なくなり、下肢静脈の血流がよくなります。このため、手術の際に血栓(血液の中にできる血のかたまり)ができるのを防ぐために装着します。このほか、足に起こるリンパ浮腫の悪化を防ぐためにも用いられます。

### ●ドナー(臓器提供者)

どなー(ぞうきていきょうしゃ)

臓器移植において、臓器を提供する人をドナーといい、移植を受ける人をレシピエントといいます。臓器移植は、生命を維持するための重要な臓器が十分に機能しなくなり、移植でしか治せない場合に行われる医療です。肝臓や腎臓の移植では、主に亡くなった人か

ら提供を受ける場合と、家族から提供を受ける場合があります。提供を希望する場合は、日本臓器移植ネットワークに登録し、順番を待つことになります。家族間の移植については、家族や担当医とよく話し合うことが大切です。

### ●内視鏡治療

ないしきょうちりょう

内視鏡は、先端に光源とレンズが付いた管で、口や肛門などから体に挿入し、主に消化管(食道、胃、十二指腸や大腸)や気管、膀胱などに挿入して、内部の様子をよく調べます。

内視鏡治療では、内視鏡によって映し出された体内の病変部を、モニター画面上で観察しながら治療を行います。挿入した内視鏡の先端から、スネアというループ状のワイヤを病巣部の根元にかけ、高周波電流を流してがんを切除するなどの方法があります。出血や痛みが少ないほか、体への負担が比較的軽く、回復までの期間が短いなどの利点がありますが、一般的に、広がり浅い小さながんが対象になります。

### ●バイパス手術

ばいばすしゅじゅつ

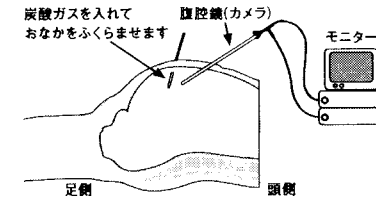
バイパス手術は、流れの悪くなっている血管や、がんなどによりふさがってしまった消化管などの迂回路をつくる手術で、血液や食べ物の流れをスムーズにさせるために行います。例えば膵臓がんでは、がんを切除できないような場合に十二指腸などがつままって食事がとれなくなってしまうのを防ぐため、胃と腸をつなぐバイパス手術をして食事がとれるようにすることがあります。

### ●腹腔鏡(腹腔鏡下手術)

ふくくうきょう(ふくくうきょうかしゅじゅつ)

腹腔鏡とは内視鏡の一種で、おなかの内部を観察するために用いるカメラのような器具です。腹部の皮膚に小さな穴を開け、そこから差し込んで用います。

腹腔鏡を用いて行う手術のことを「腹腔鏡下手術」といいます。おなかに開けた数箇所くわの小さな穴から、腹腔鏡や手術操作の器具を挿入します。ガスでおなかをふくらませ、テレビモニター画面上で内部の状態をみながら手術を行います(図)。通常の開腹手術に比べておなかを大きく切ることがないため、手術の創きずが小さく、手術後の痛みも少ないのですが、特殊な器具や技術が必要であったり、治療効果が未確認であったりすることから、すべての医療機関で行っているわけではありません。



図：腹腔鏡下手術の様子

### ●癒着

ゆちゃく

手術の後で、本来は離れているべき器官が炎症などのためにくっついてしまうことです。癒着ができて、特に症状がなければ問題はありませんが、癒着は腸内の流れを悪くするため、腸閉塞といった合併症を引き起こすことがあります。

### ●予後

よご

病気や治療などの医学的な経過についての見通しのことです。「予後がよい」といえば、「これから病気がよくなる可能性が高い」、「予後が悪い」といえば、「これから病気が悪くなる可能性が高い」ということになります。

### ●臨床研究コーディネーター(CRC)

りんしょうけんきゅうこーでいねーたー(シーアールシー)

臨床研究が円滑に行われるように、研究全体を調整する役割を担う職種のことです。研究に関する事務的な業務や、被験者と医師・製薬会社間の調整、被験者の心と体のケアなどを行います。医療従事者としての臨床経験が必要とされるため、看護師や薬剤師などを経験してきた人がその役割を果たすことが多いようです。

### ●臨床試験の段階

りんしょうしけんのだんかい

臨床試験には大きく分けて3つの段階があり、各段階で安全性や有効性を確認しながら順番に進められていきます(病気の種類によって進め方が若干異なることがあります)。

#### 第1相(安全性の評価)

目的：薬の安全性の確認、有効で安全な投与量や投与方法を調べます。

対象：少数の患者さんに参加していただきます。

#### 第2相(有効性の確認)

目的：前の段階で有効で安全と判断した

投与量や投与方法を用い、薬の有効性と安全性を確認します。

対象：がん種や病態を特定し、前の段階よりも多い数の患者さんに参加していただきます。

### 第3相（従来の標準治療との直接比較による有効性・安全性の総合評価）

目的：新しい薬や治療法が従来の薬や治療法（標準治療）と比べて、有効性や安全性の面で優れているかどうかを比較試験で確認します。

対象：さらに多くの患者さんに参加していただきます。

#### ●リンパ節郭清

りんばせつかくせい

手術の際に、がんを取り除くだけでなく、がんの周辺にあるリンパ節を切除することで、がん細胞はリンパ節を通して全身に広がっていく性質があるため、がんが転移するのを防ぐためにを行います。

リンパ節を切除すると、体内をめぐるリンパ液の流れが滞ることにより、手や腕、足などがむくむことがあります（リンパ浮腫）。むくみを予防するために、マッサージなど日常的に行える対策もあります。担当医や看護師によく確認しておくといでしょう。

## 費用と支援制度

### ●医療費控除の手続き

いりょうひこうじょのてつづき

会社員など自分で確定申告をする義務のない人は、支払った翌年の1月1日から5年間は医療費控除の申請ができます。その際、医療費を支払った年の源泉徴収票を提出しなければならないため、会社などで再発行してもらう必要があります。

一方、その年の確定申告をすでに行った人については、申告内容の修正になるため、期限が異なります。原則として、その年の確定申告の期限から1年以内に、医療費控除の手続きを行う必要があります。どちらの場合も、手続きは住所地を所轄する税務署で行います。

### ●差額ベッド

さがくべつど

4人部屋以下で、1人当たりの面積が一定の広さを有し、プライバシーを確保する設備を備えた病室のことです。公的医療保険が適用されないため、入院した際に支払う入院料とは別に、患者さんが室料（差額ベッド代）を自己負担します。室料は医療機関によって異なります。差額ベッドの病室への入院には、患者さんの同意が必要で、同意書へのサインを求められます。医療機関側の都合により差額ベッドの病室にやむを得ず入院する場合は、差額ベッド代は請求されません。

### ●診断群分類包括評価（DPC）

しんだんぐんぶんるいほうかつひょうか（ディーピーシー）

DPCとは、患者さんの病名や症状と治療内容や入院日数などの組み合わせに応じて総医療費があらかじめ設定されている新しい医療費の評価方式です（一部例外もあります）。

従来は、治療、検査、薬などにかかった費用をすべて合計して費用を決める出来高支払い方式が一般的でしたが、DPCでは1日当たりの点数が決められているため、投薬、注射、検査などは、その決められた点数に包括されています。ある程度規模の大きな病院では、DPCを取り入れるところがふえています。

### ●先進医療制度

せんしんいりょうせいど

保険が適用されない医療を受ける場合は、同時に行われる保険が適用される診察、検査、薬、入院などの費用も含めて、全額自己負担することになります。

先進医療制度は、この仕組みに例外を定めるもので、公的医療保険が適用されない治療のうち、厚生労働省が特別に定めた「先進医療」にかかる費用については、保険診療との併用が認められます。先進医療は、国が定めた一定の条件を備えた医療機関でのみ実施されます。

### ●入院費の支払い

にゅういんひのしはらい

入院中の医療費は、退院日までに全額を支払うのが原則ですが、支払い方法や支払期限などについては、病院によってそれぞれ

異なります。入院が1ヵ月以上に及ぶ場合は、通常は1ヵ月ごとに請求書が発行されます。請求書が出されてから1週間～10日以内程度での支払いが多いようです。支払い方法は、現金が一般的ですが、大きな病院ではクレジットカードなどにより、分割払いができるところもあります。入院が長引くときなどは、現金での分割払いなどを受け入れている病院もありますので、早めに会計窓口や相談支援センターに相談しておくといでしょう。

### ●民間保険

みんかんほけん

#### ・給付金の範囲

きゅうふきんのはんい

がん保険の対象となる“がん”は、保険の種類や保険会社によって、その範囲が異なる場合があります。特に初期段階のがんである“上皮内がん”（上皮組織にとどまって浸潤していない状態のがん）を対象とするかどうかは、会社によって異なりますので、ご注意ください。また、加入する保険が1つでも複数の給付金の対象になることもあります。最近では、請求漏れがないように確認してくれる保険会社もふえています。自分に該当する給付金はあらかじめ確かめておきましょう。

#### ・給付金と医療費控除

きゅうふきんといりょうひこうじょ

民間保険の給付金などをもらった人は、その給付の目的となった医療費から、給付金などの額を差し引きます。支払った医療費よりも給付金などが多く、差引額がマイナスになった場合、その医療費はゼロ円とみなし控除の計算から外します。

例えば、入院給付金は、入院にかかった総医療費から差し引きますが、その額がマイナスになったからといって、入院費以外の医療費が引かれるようなことはありません。

#### ・相談窓口(生命保険に関する相談、照会)

そうだんまどぐち(せいめいほけんにかんするそうだん、しょうかい)

各保険会社では、相談窓口を設けています。わからないことがあれば、相談してみましょう。そこで解決できなかった場合には、下記のような相談窓口も利用できます。

##### ◇一般相談

(財)生命保険文化センター

相談専用電話(直通) 03-5220-8520

##### ◇一般相談・苦情

(社)生命保険協会(本部)生命保険相談所  
電話 03-3286-2648

#### ・保険の用語

ほけんのようご

民間保険の保険内容を規定している約款やくかんなどには、専門用語が数多く使われています。代表的な用語について簡単に説明します。

- ・ 被保険者…保険の対象となる人。
- ・ 保険契約者…保険会社と契約を結び、保険料支払いの義務を持つ人。
- ・ 受取人…給付金・保険金を受け取る人。
- ・ 1入院…1回の入院という意味ではなく、一定期間内に同じ病気、ケガで入院した場合をいいます。退院から一定期間(主に180日)経過しないうちに、病気の再発で再入院した場合、前回の入院と合わせて1入院とされます。

## 索引

## 【50音順】

## あ

悪性黒色腫 216  
悪性線維性組織球腫 212  
悪性軟部腫瘍 212  
悪性リンパ腫 168, 170  
アルキル化剤 90

## い

医学物理士 99  
胃がん 128  
移植 153, 171, 198  
遺伝子 78  
医療費 40, 64, 65, 67, 72, 74, 236, 237  
医療費控除 70, 236  
医療用麻薬 106  
胃ろう 119  
咽頭がん 204  
院内学級 180  
インターネット 25, 50  
インターフェロン 170, 196  
インフォームドコンセント 32, 232

## う

うつ状態 21, 29  
ウィルムス腫瘍 177

## え

栄養サポートチーム 119, 232

栄養士 42, 119  
栄養相談 116  
嚥下, 嚥下訓練 205, 206  
エコー検査 81  
エストロゲン 144, 148

## お

黄疸 188, 191  
嘔吐 117  
温存, 温存療法 145, 204, 213  
温熱療法 217  
オストメイト 121  
オピオイド鎮痛薬 106, 120

## か

介護保険 58  
概日リズム 114  
外部照射 98  
外来化学療法 91  
化学療法 79, 90  
化学療法の副作用 アレルギー反応 92  
化学療法の副作用 嘔吐 94  
化学療法の副作用 下痢 94  
化学療法の副作用 口腔粘膜炎 94  
化学療法の副作用 口内炎 94  
化学療法の副作用 骨髄抑制 93  
化学療法の副作用 出血傾向 95  
化学療法の副作用 脱毛 95  
化学療法の副作用 だるさ 95  
化学療法の副作用 手足のしびれ感 95  
化学療法の副作用 吐き気 94

化学療法の副作用 貧血 94  
化学療法の副作用 便秘 94  
喀痰細胞診 161  
画像検査 81  
家族歴 80  
肝炎ウイルス 152, 156  
寛解 170  
肝芽腫 176  
肝硬変 152  
看護師 43  
肝細胞がん 152  
患者会 37, 49  
患者サロン 49  
肝障害度 153  
がん情報サービス 25, 26, 39, 110  
がん診療連携拠点病院 25, 26, 52, 53, 54, 105  
肝切除術 153  
感染予防 93  
がん対策推進計画(都道府県の) 53  
肝動脈塞栓術 154  
がん保険 74  
緩和ケア 22, 104, 106, 109  
緩和ケア医 42  
緩和ケア外来 105  
緩和ケアチーム 105  
緩和ケア病棟 105  
ガイドライン 39  
カウンセリング 23  
ガンマ線 98  
き  
気管孔 205  
気管支 160  
気管支鏡(検査) 161, 232

義肢 214  
義肢装具士 215  
基底細胞がん 216  
気分障害 21  
気分転換 125  
逆流性食道炎 131, 186  
急性白血病 168, 170  
給付金 75  
局所療法 84  
居宅介護支援事業者 58  
居宅サービス 59  
居宅療養管理指導 59  
禁煙 164, 206  
禁煙治療 232

## く

クリーンルーム 179  
グリオーマ 177  
クリティカルパス(クルニカルパス) 89

## け

経管栄養 119  
形質細胞 168  
経鼻胃管 119  
経皮経肝胆道造影 188  
経皮的エタノール注入療法 154  
けいれん 209  
外科医 42  
血液検査 81  
血管造影検査 208  
血小板 168  
下痢 120, 139  
研究者(医師)主導臨床試験 102  
健康食品 25, 110  
健康保険 64

言語聴覚士 42, 207

検査 80

幻肢 214

幻肢痛 214

限度額適用・標準負担額認定 71

原発性悪性骨腫瘍 212

原発性脳腫瘍 208

ケアプラン 58

ケアマネジャー 57

## こ

構音障害 210

高額医療・高額介護合算制度 69

高額介護・高額介護予防サービス費 73

高額療養費(制度) 65, 67

高額療養費貸付制度 69

高額療養費受領委任払い制度 69

高カロリー食品 116

抗がん剤治療 80, 90

抗がん性抗生物質 90

口腔乾燥 118

口腔粘膜炎 118

抗けいれん薬 210

高次脳機能障害 210, 227

拘縮 214

抗体療法 79

好中球減少性発熱 93

公的医療保険 64, 74

喉頭がん 204

口内炎 118, 206

硬膜外麻酔 87, 233

誤嚥 118, 185

誤嚥性肺炎 185

心のケア 22

骨腫瘍 212

骨髄検査, 骨髄生検 169, 179

骨髄性白血病 168

骨髄穿刺 169

骨髄抑制 93, 164, 172

骨粗鬆症 132

骨肉腫 212

子どものがん 176

コミュニティーサイト 50

コルポスコプ 192

コンピューター断層撮影 81

## さ

再建手術 129, 145, 184, 204, 206,

213, 233

在宅医療 53, 56, 57

在宅緩和ケア支援センター 105

在宅ホスピス 57

在宅療養支援診療所 56

再燃 174, 203

再発 108

細胞診断(細胞診) 82

差額ベット(代) 67, 236

作業療法士 42, 57

産業医 36

サイトカイン療法 197

サプリメント 110

## し

歯科医 43, 57

歯科衛生士 57

磁気共鳴撮影 81

子宮頸がん 192

子宮体がん 192

自己負担限度額 67

自己負担限度額適用認定証 68

支持療法 91, 171, 233

施設入所 59

施設入所サービス 59

失語症 210

脂肪肉腫 212

集学的治療 90, 145, 179, 184, 204,

209, 219, 233

住宅改修費 59

終末期 60

重粒子線 98

手術 79, 86

手術給付金 75

術中照射 98

術中迅速病理診断 82, 233

腫瘍内科医 42

腫瘍マーカー 81

障害一時金 72

障害基礎年金 72

障害共済年金 72

障害厚生年金 72

障害者手帳 73

紹介状 46, 233

障害手当金 72

障害年金 72

消化管ストーマ 121, 141

小細胞がん 161

小線源療法 202

小児がん 176

傷病手当金 70

情報カード 211

食道がん 184

職場復帰プログラム 36

植皮 217

腎移植 198

腎盂がん 196

腎盂尿管がん 196

腎芽腫 176, 177

神経芽腫 176, 177

神経膠腫 177

神経ブロック 107

人工関節 213

人工喉頭 207

人工肛門 121, 137, 141, 199, 220

人工唾液 206, 234

人工膀胱 121, 199, 224

腎細胞がん 196

浸潤 79

身体障害者手帳 73, 121, 207

診断 80

診断群分類包括評価 65, 237

真皮 216

新薬 102

心理士 22, 43

診療ガイドライン 39, 84

診療情報提供書 46, 233

診療放射線技師 43, 99

ショートステイ 59

## す

膝液 188

膝液検査 179

膝液瘻 130

膝炎 189

髄芽腫 177

髄腔内注射 171

膝臓がん 188

膝頭十二指腸切除術 189

睡眠 122

睡眠導入剤 124

頭蓋内圧亢進症状 208

スクイーミング 163  
 ステージ 83  
 ストーマ 121, 137, 199  
 ストーマケア 121, 199  
 ストレス 125

## せ

生活福祉資金貸付制度 72  
 生活保護 71  
 性機能(障害) 140, 198  
 生検 80, 145, 153  
 成人T細胞白血病リンパ腫 169  
 精神腫瘍医 22, 42  
 舌がん 205  
 赤血球 168  
 穿刺吸引細胞診 145  
 先進医療制度 64, 237  
 全身療法 85  
 前立腺がん 200  
 前立腺特異抗原 200  
 セカンドオピニオン 24, 32, 39, 45, 46  
 セカンドオピニオン外来 47

## そ

造影剤 81  
 造血幹細胞 168  
 造血幹細胞移植 170, 171, 179  
 増殖 78  
 相談支援センター 16, 17, 22, 25, 26,  
 37, 40, 45, 47, 48, 53, 64  
 続発性悪性骨腫瘍 212  
 組織診断 82  
 咀嚼 205

## た

退院療養給付金 75  
 待期療法 200  
 代謝拮抗剤 90  
 代替療法 110  
 大腸がん 136  
 体調管理 114  
 脱水症状 117  
 多発性骨髄腫 168  
 だるさ 124  
 胆管炎 188  
 胆管がん 188  
 短期入所生活介護 59  
 胆汁 188  
 弾性ストッキング 87, 131, 147, 194,  
 218, 224, 234  
 弾性着衣 218, 219  
 胆道がん 188  
 胆のうがん 188  
 ダーモスコピー 216  
 ダンピング症候群 132, 186

## ち

地域包括支援センター 57  
 地域連携クリティカルパス 54, 55  
 治験 102, 103  
 治験コーディネーター 103  
 中心静脈栄養 88, 119, 185  
 注腸(造影)検査 129, 136  
 超音波検査 81, 145  
 超音波内視鏡検査 184  
 長期フォローアップ 182  
 長期フォローアップ手帳 183  
 腸閉塞 131, 139

腸ろう 119  
 治療計画(放射線治療の) 99  
 チーム医療 42

## つ

通院給付金 75  
 通所介護 56, 59  
 通所サービス 59  
 通所リハビリテーション 59

## て

適応障害 21  
 転移 108  
 転移性脳腫瘍 208  
 電気喉頭 207  
 電子線 98  
 デイケア 59  
 デイサービス 56, 59

## と

頭頸部のがん 204  
 凍結療法 217, 228  
 動注 91  
 導尿 197  
 特定疾病保障保険 74, 75  
 特定福祉用具販売 59  
 特別支援学校 180  
 トポイソメラーゼ阻害剤 90  
 ドレーン 88

## な

内科医 42  
 内視鏡検査 82, 128, 136, 204  
 内視鏡治療 234  
 内視鏡的逆行性胆管膵管造影 188

内視鏡的切除 129, 137, 184  
 内部照射 98  
 内分泌療法 90  
 軟骨肉腫 212

## に

肉腫 176, 212  
 日光角化病 217  
 入院給付金 75  
 入院時の持ち物リスト 41  
 入院費の支払い 237  
 入院料 65  
 乳がん 144  
 乳房外パジェット病 216  
 尿管がん 196  
 尿管鏡 196  
 尿細胞診検査 196  
 尿失禁 201  
 尿路ストーマ 121  
 尿路変向術 197  
 ニコチンガム 164

## ね

ネブライザー 163

## の

脳腫瘍 177, 208  
 脳脊髄液検査 179

## は

肺がん 160  
 胚細胞腫瘍 177  
 肺塞栓 131  
 排尿, 排尿障害 121, 140, 193, 196,  
 200, 224



排便 120  
 吐き気 117  
 播種 108  
 白金製剤 90  
 白血球 168  
 発生(かんの発生) 78  
 反回神経麻痺 185  
 晩期合併症 182  
 バイパス手術 234

**ひ**

皮下組織 216  
 微小管作用薬 90  
 非小細胞がん 161  
 ひとり親家庭等医療費助成 71  
 皮膚がん 216  
 皮弁 217  
 病期 38, 83  
 標準治療 38  
 表皮 216  
 病理医 42  
 病理検査 82  
 病歴 80  
 日和見感染症 173  
 疲労 124  
 ピアサポート 37, 49

**ふ**

腹腔鏡 129, 137, 235  
 腹腔鏡下手術 235  
 副作用(化学療法の) 92  
 副作用(放射線治療の) 100  
 福祉用具貸与 59  
 不眠 123, 124  
 分化 78, 168

分化誘導療法 79, 171  
 分子標的薬 79, 90, 95, 170  
 分子標的治療 90, 95  
 ファーストオピニオン 46

**へ**

平滑筋肉腫 212  
 閉塞性黄疸 188  
 便秘 106, 120, 139

**ほ**

膀胱鏡 196  
 縫合不全 130, 138  
 放射性同位元素 98  
 放射線 98  
 放射線診断医 42, 98  
 放射線治療 79, 98  
 放射線治療医 42, 98, 99  
 放射線治療の副作用 口の中が渴く 101  
 放射線治療の副作用 下痢 101  
 放射線治療の副作用 口腔粘膜炎 101  
 放射線治療の副作用 口内炎 101  
 放射線治療の副作用 食欲がない 100  
 放射線治療の副作用 脱毛 101  
 放射線治療の副作用 だるさ 100  
 放射線治療の副作用 吐き気 101  
 放射線治療の副作用 皮膚の赤み 101  
 放射線治療の副作用 皮膚のかゆみ 101  
 放射線治療の副作用 疲労感 100  
 訪問介護 59  
 訪問看護師 42, 57  
 訪問教育 180  
 訪問診療 56  
 訪問入浴介護 59  
 訪問リハビリテーション 59

補完代替医療 25, 110  
 保険金 75  
 勃起障害 201  
 ボーエン病 217  
 ポート 91  
 ホームヘルパー 57  
 ホスピス 105  
 ホットフラッシュ 202  
 ホルモン剤 90  
 ホルモン療法 79, 90, 96, 145, 193, 200, 202

**ま**

麻酔 86, 87  
 麻酔医 42  
 慢性肝炎 152  
 慢性白血病 168  
 マンモグラフィ 145, 150

**み**

味覚異常 117  
 密封小線源治療 98  
 民間保険 74, 237  
 民間療法 110

**む**

無菌室 179

**め**

免疫抑制療法 171

**も**

網膜芽腫 176  
 持ち物リスト(入院時の) 41  
 モルヒネ 106, 120

**や**

薬剤師 42, 57  
 薬物有害反応(化学療法の) 92  
 薬物療法(抗がん剤治療) 80, 90

**ゆ**

有棘細胞がん 216  
 癒着 139, 235  
 ユーイング肉腫 212

**よ**

陽子線 98  
 陽電子放出断層撮影 82  
 予後 83, 235

**ら**

卵巣がん 192  
 卵巣欠落症状 194  
 ラジオ波焼灼療法 154

**り**

理学療法士 42, 57  
 療養介護 59  
 臨床研究コーディネーター 103, 235  
 臨床検査技師 42  
 臨床試験 102  
 臨床試験の段階 102, 235  
 リハビリ専門職 42  
 リハビリテーション医 42  
 リラクセーション 23  
 リラックス 122  
 リンパ球 168  
 リンパ性白血病 168  
 リンパ節郭清 129, 137, 162, 184,

193, 198, 201, 217, 236

リンパ浮腫 147, 194

リンパマッサージ 147, 194, 195, 218,  
219

**れ**

レスパイト入院 56

【ABC順】

BCG 197

CRC 103, 235

CT 81

DPC 65, 237

ERCP 188

MRCP、MR胆管膵管撮影 188

MRI 81

NST 119, 232

PET 82

PSA(検査) 200

PSA監視療法 200, 225

PTC 188

TNM分類 84

X線(治療) 98

X線検査 81

γ線 98

協力者一覧 (五十音順)

浅井昌大 国立がんセンター中央病院 頭頸科  
 朝戸裕二 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 呼吸器外科  
 安部能成 千葉県がんセンター リハビリテーション部  
 新井良子 埼玉県立がんセンター 相談支援センター  
 池田公史 国立がんセンター東病院 肝胆膵内科  
 池山晴人 独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 地域医療連携室  
 石川睦乃 静岡県立静岡がんセンター研究所 患者・家族支援研究部  
 石田和子 群馬大学医学部附属病院 看護部  
 石田也寸志 聖路加国際病院 小児科  
 上杉英生 国立がんセンター東病院 看護部  
 上野秀樹 国立がんセンター中央病院 肝胆膵内科  
 牛島俊和 国立がんセンター研究所 発がん研究部  
 白倉幹枝 東京海上日動メディカルサービス株式会社  
 内富庸介 国立がんセンター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発部  
 近江和夫 財団法人日本対がん協会  
 大賀有記 さいたま赤十字病院 医療社会事業部  
 大橋英理 財団法人がんの子供を守る会  
 大松重宏 城西国際大学 福祉総合学部  
 大松尚子 財団法人日本対がん協会  
 岡崎賢美 社会医療法人財団大和会 東大和病院 がん相談支援センター  
 奥 朋子 千葉大学医学部附属病院 看護部  
 小郷祐子 国立がんセンター中央病院 相談支援センター  
 加賀美芳和 国立がんセンター中央病院 放射線治療部  
 寛 善行 香川大学医学部 泌尿器科  
 掛屋純子 新見公立短期大学 看護学科  
 勝俣範之 国立がんセンター中央病院 乳腺・腫瘍内科  
 加藤麻樹子 社会医療法人財団大和会 東大和病院 がん相談支援センター  
 川井 章 国立がんセンター中央病院 整形外科  
 楠本昌彦 国立がんセンター中央病院 放射線診断部  
 桑名寿美 北里大学病院 看護部  
 神津三佳 千葉大学医学部附属病院 看護部  
 古賀寛史 原三信病院 泌尿器科  
 小坂雅人 東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
 後藤 梯 東京大学医学部附属病院 呼吸器内科  
 近藤まゆみ 北里大学病院 患者支援センター  
 斎田俊明 信州大学医学部附属病院 皮膚科  
 斎藤真理 横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合診療科  
 坂下智珠子 北里大学東病院 看護部  
 坂元敦子 杏林大学医学部付属病院 看護部  
 佐治重衡 がん・感染症センター 都立駒込病院 乳腺外科・臨床試験科  
 佐藤慎哉 山形大学医学部 総合医学教育センター  
 佐藤美紀 北里大学病院 看護部  
 佐野 武 財団法人癌研究会有明病院 外科  
 島田和明 国立がんセンター中央病院 肝胆膵外科  
 清水千佳子 国立がんセンター中央病院 乳腺・腫瘍内科

清水秀昭 栃木県立がんセンター 外科  
 未國千絵 国立がんセンター中央病院 放射線治療部  
 鈴木恭子 国立がんセンター中央病院 看護部  
 関根郁夫 国立がんセンター中央病院 肺内科  
 泰園澄洋子 前・千葉大学看護学部 成人看護学教育研究分野  
 高野和也 株式会社日立製作所水戸総合病院 がん相談支援センター  
 高橋良子 栃木県立がんセンター がん情報・相談支援センター  
 谷水正人 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 外来部  
 田原 信 国立がんセンター東病院 内視鏡部  
 田村研治 国立がんセンター中央病院 内科  
 田村里子 東札幌病院 医療相談室  
 津金昌一郎 国立がんセンターがん予防・検診研究センター 予防研究部  
 中馬広一 国立がんセンター中央病院 整形外科  
 西尾温文 順天堂大学医学部附属順天堂医院がん治療センター  
 橋本久美子 聖路加国際病院 総合医療相談室  
 花出正美 財団法人癌研究会有明病院 看護部  
 林 昇甫 市立豊中病院 肝胆膵外科・緩和ケアチーム  
 久山幸恵 静岡県立静岡がんセンター 看護部  
 福井朋也 北里大学医学部 呼吸器内科学  
 福原麻希 医療ジャーナリスト  
 藤澤陽子 千葉大学医学部附属病院 看護部  
 古田 耕 国立がんセンター中央病院 臨床検査部  
 堀内智子 静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター  
 松岡真里 名古屋大学大学院医学系研究科 健康発達看護学博士課程後期  
 松原康美 北里大学東病院 看護部  
 的場元弘 国立がんセンター中央病院 緩和医療科  
 御牧由子 埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター がん相談支援センター  
 宮倉美里 国立がんセンター中央病院 相談支援センター  
 宮下徹也 国立がんセンター中央病院 第二領域外来部  
 安原千晶 東京歯科大学市川総合病院 地域連携・医療福祉室  
 山岸暁美 東京大学大学院医学系研究科 緩和ケア看護学  
 山口素子 三重大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学  
 山崎直也 国立がんセンター中央病院 皮膚科  
 山下紀子 国立がんセンター中央病院 臨床試験・治療開発部  
 山田康秀 国立がんセンター中央病院 消化管内科  
 山本昭子 独立行政法人国立病院機構 西群馬病院 看護部  
 山本聖一郎 国立がんセンター中央病院 大腸外科  
 温泉川真由 国立がんセンター中央病院 乳腺・腫瘍内科  
 吉田みつ子 日本赤十字看護大学 基礎看護学/がん看護学  
 渡邊慎理 神奈川県立がんセンター 医療相談支援室

国立がんセンターがん対策情報センター 患者・市民パネル

# がんに関する冊子

国立がんセンター  
がん情報サービス

ganjoho.jp

全国のがん診療連携拠点病院の相談支援センターで配布しています。

全国のがん診療連携拠点病院は、がん情報サービス携帯版「病院を探す」で参照できます。



シリーズ名	No.	冊子名	No.	冊子名
<b>●各種がん(成人がん)●</b>       	101	胃がん	131	悪性リンパ腫
	102	食道がん	132	多発性骨髄腫
	103	大腸がん	133	慢性骨髄性白血病
	104	肝細胞がん	141	子宮頸がん
	105	膵臓がん	142	卵巣がん
	106	胆のうがん	151	腎盂尿管がん
	111	髄膜腫	152	腎細胞がん
	112	聴神経鞘腫	153	前立腺がん
	113	喉頭がん	154	膀胱がん
	114	舌がん	161	悪性黒色腫
	121	中皮腫	162	乳房外パジェット病
	122	胸腺腫と胸腺がん	163	悪性線維性組織球腫
	123	肺がん		
<b>●小児がん●</b> 	181	小児の悪性リンパ腫	186	小児の腎腫瘍
	182	小児の横紋筋肉腫	187	小児の脳腫瘍
	183	小児の肝腫瘍	188	小児の胚細胞性腫瘍
	184	小児の骨肉腫	189	小児の白血病
	185	小児の神経芽腫	190	小児のユーイング肉腫
<b>●がんと療養●</b> 	202	がんと心	203	がん治療と口内炎
<b>●社会とがん●</b> 	001	相談支援センターにご相談ください		
	201	家族ががんになったとき		

がん情報サービス (<http://ganjoho.jp/>) から冊子のデータをダウンロードできます。

がん情報サービスホームページでは、その他、がんについて信頼できる情報をわかりやすく紹介しています。

**患者必携** がんになったら手にとるガイド (試作版)

編集・発行 国立がんセンターがん対策情報センター

2009年6月 第1版 発行

〇〇〇〇  
がんになったら  
手にとるガイド<sup>®</sup>  
試作版